

**令和5年度 第3回技術管理委員会(令和6年2月16日開催) 要旨**

審議事項

○実用化技術の事後評価

研究開発課題	超低含水率型脱水機の開発	
研究開発の種類	開発技術の導入を前提とした共同研究	
研究開発者	巴工業（株）	
所管部署	計画調整部技術開発課	
事後評価期間	令和4年2月1日 ～ 令和5年2月1日	
事後評価目的	平成27年度に実用化技術となった、開発技術の導入を前提とした共同研究「超低含水率型脱水機の開発」で承認された技術について、協定書に定める事後評価を実施したものである。	
実用化技術概要	本技術は、下水道施設での温室効果ガス排出量削減のため、脱水汚泥の水分量を低動力で一層削減し、当局が定める条件下において脱水汚泥含水率71%以下を達成し、汚泥の性状が悪化した場合でも脱水汚泥含水率74%以下を達成する脱水機の開発を目的とした。	
事後評価目標	【目標①：事後評価目標】 脱水汚泥含水率：71%以下 74%以下	【結果①】 達成を確認
事後評価結果	上記の事後評価目標を達成した。	
審議結果	目標を達成していることから、今後も導入することが可能であると評価する。	
備考		